

各 位

会 社 名 株式会社ニッセンホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 佐村 信哉  
 (コード番号 8248 東証・大証第一部)  
 問合せ先 執行役員財務本部長 石畑 成人  
 (T E L 075-682-2041)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 12 月 12 日に公表いたしました平成 23 年 12 月期（平成 22 年 12 月 21 日～平成 23 年 12 月 20 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 22 年 12 月 21 日～平成 23 年 12 月 20 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 12 月 12 日発表)	140,400	2,380	2,160	1,580	31.11 円
今回修正予想 (B)	140,700	2,700	2,850	2,250	44.31 円
増減額 (B-A)	300	320	690	670	—
増減率 (%)	0.2	13.4	31.9	42.4	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 22 年 12 月期)	137,392	3,196	2,846	3,001	59.10 円

#### 2. 修正の理由

当社グループの主力事業である通販事業の株式会社ニッセンにおきまして、前回修正予想の発表以降に全国的に気温が低く推移したため秋冬シーズン商品の受注が回復傾向にあります。その結果、当期の売上高においても前回発表予想を若干上回る見込みです。

利益面につきましては、受注増に伴う限界利益の増加に加え、秋冬シーズン商品の堅調な販売により想定以上に値引き率が減少するなど原価率の良化を見込んでおります。さらに、2012 年度以降の秋冬商品の受注予測が当初予想より増加し、カタログ関連費用の次期への繰延などが利益を押し上げる要因となりました。

また、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社においては、貸倒引当金計上額が当初の見込みよりも良化するなど貸倒関連費用の減少により、持分法投資損益が改善する見込みです。

以上により、グループ連結業績予想数値につきましては、前回発表予想より売上高は 300 百万円の増加、営業利益は 320 百万円の増加、経常利益は 690 百万円の増加、当期純利益は 670 百万円の増加となる見込みです。

従いまして、売上高及び経常利益は前期連結実績も上回る見込みとなりました。

(注) 上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

以上